

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成18年8月10日(2006.8.10)

【公開番号】特開2001-120909(P2001-120909A)

【公開日】平成13年5月8日(2001.5.8)

【出願番号】特願平11-299834

【国際特許分類】

| | | |
|---------------|--------------|------------------|
| B 01 D | 21/30 | (2006.01) |
| B 01 D | 21/02 | (2006.01) |
| B 01 D | 21/08 | (2006.01) |
| B 01 D | 21/24 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|--------|-------|---|
| B 01 D | 21/30 | F |
| B 01 D | 21/02 | S |
| B 01 D | 21/08 | E |
| B 01 D | 21/24 | D |

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月26日(2006.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

また、本発明に係る含有フロック制御手段は、上述の各実施態様に示したように板状に形成するものの他、管状に構成することもできる。たとえば図5に本発明の第4実施態様に係る凝集沈殿装置41を示すように、沈澱槽3への被処理水流入部42に、沈澱槽入口傾斜管43を縦横に(格子状に)配列してもよい。また、傾斜管構成ではなく、上下方向に延びる整流管構成としてもよい。傾斜管43に構成する場合には、その内面に、図3に示したようなフロッカー時せき止めフィンを設けることが可能である。このような沈澱槽入口傾斜管43構成、あるいは整流管構成としても、図2、図4に示した構成と同等の作用、効果、あるいは図1に示した構成と同等の作用、効果を得ることが可能である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図8】

従来の含有フロック制御手段なしの凝集沈殿装置の全体構成図である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図9】

従来の別の含有フロック制御手段なしの凝集沈殿装置の全体構成図である。